2026年10月25日
第79号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本
発行人 椀田優一
編　集 情宣担当
ホームページ
http://www.jreu-yokohama1.jp/

イーハトーブ

10月25日号

10月に入ってから大規模な不正アクセスによる個人情報の流出が相次いでいる。

今の社会はパソコンやスマホなどの機器とネットワークの技術で飛躍的に利便性が向上したし、生活そのものを変えてきた。その場から動くこと無く情報が得られ、買い物ができて、支払いや振り込みなどもできる。しかし、その反面として個人情報の流出や詐欺など様々なトラブルが発生している。

その原因は何なのかを考えたときにAIの発展が一因などと色々と言われてはいるが、根本としてはお金儲けのために行き着くのだと思う。特にAIの発展はそれぞれの企業が優位性をアピールするためにより高度な物を開発している。その結果、管理しきれずにAIが勝手に攻撃を仕掛けるという事象まで発生している。さらにそのAIを活用して悪事を働く人間もいる。その動機の大半はお金儲けのためとなるだろう。今の資本社会においては、お金を儲けることが最大の目標であり目的だからだ。

そうなってくると私たちが得る情報自体にも注意が必要になる。デマ情報などに注意が呼びかけられているが、その情報が本当に真実なのかウソなのかの根拠すらも曖昧になりかねない。それこそどこかの企業が自身の武器の販売を永続的に続けるために金を積んで本物のような映像や画像をつくらせ、公式情報に偽装させて公表すれば本物のような幻をつくり出すことをするかもしれない。

このことは非常に恐ろしいことだと思う。そのようにならないためには、集まって互いに議論して、利益至上主義で働く人のことなど考えない社会や会社に対してNOと言い続けるしかないのだと考える。

（T・G）

イーハトーブとは
「注文の多い料理店」や「雨ニモマケズ」などの著者として有名な宮沢賢治による造語です。故郷の岩手県をモチーフとし、彼の心の中にある理想郷を示す言葉です。
社会に目を向け、新しいものを積極的に取り入れ、農民の生活向上のために最後まで尽力した宮沢賢治の生き方に学びながら、私たちも外に目を向け、私たちが安心して働き暮らせる理想郷を実現していこうという想いを込め、イーハトーブというタイトルで情報発信を行っていきます。